

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
芸術	書道 I	2	書 I 701	東京書籍	書道 I

目標 【学習指導要領】	(1)書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (2)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 ・書の表現や形式・多様性などを理解し、意図に基づいて構想し表現を工夫し、お互いの作品を肯定的に鑑賞し合える力を養う。
評価の観点	【知識・技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関り、線質や書風と用筆・運筆との関りについて、理解している。 【思考・判断・表現】 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想・工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字の書・仮名の書・実用的な書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
後期(前期)	10月 (4月)	書写から書道へ ○書写で学んできたこと ○具・用材の製造方法	・書道 I を学習する目的、用具・用材の特徴について知識と理解を深める。書の表現効果を味わい感じ取る。	第1回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	姿勢・執筆法についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 実技
	10月 (5月)	書写から書道へ ○書の美を楽しむ ○書写で学んできたこと ○楷書の基本 ○行書の基本	・漢字の書体の変遷・文字の伝統と文化について理解を高める。		10月 (5月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	10月 (5月)	漢字の書 ○漢字の成立と変遷 ○楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」「自書告身」 ○唐の四大家	・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書体の特徴について知識と理解を深め、それぞれの特徴をとらえる。 ・楷書の用筆・運筆・結構法・字形の取り方について理解し作品を仕上げる。	第2回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	・書体の変遷についての学習 ・漢字の楷書についての実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技
	11月 (6月)	漢字の書 ○行書の特徴 「行書とは」「行書の特徴」 「蘭亭序」「争坐位文稿」 「風信帖」 三筆から三蹟へ	・行書の特徴を理解する。 ・字形の取り方・用筆等楷書と比較してより鮮明に特徴をとらえる。 ・行書の用筆・運筆・字形の取り方を理解し、「表現の特徴」を手掛かりに作品を仕上げる。	第3回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	・楷書の基本を振り返りながら行書の特徴についての学習 ・漢字の行書についての実技	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント 実技
	11月 (6月)	漢字の書 ○草書の特徴 「真草千字文」 ○隸書の特徴 「曹全碑」 ○篆書の特徴 「篆書の特徴」	・それぞれの書体が成立する過程や、特徴について理解する。	第4回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	それぞれの書体の特徴・運筆・用筆等をつかむ	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
		漢字の書 ○創作 ～古典を生かそう～ ○鑑賞 ～書の美や風趣を味わおう～	・古典の特徴や技法を生かして創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。		11月 (6月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	11月 (6月)	仮名の書 ○仮名の成立 ○仮名を書く準備 ○平仮名の単体 ○変体仮名 ○連綿	・仮名の成立を理解し、単体・連綿の表現の違いに注目する。用筆・運筆の技法も合わせて習得する。	第5回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	仮名の書についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	12月 (7月)	漢字仮名交じりの書 ○表現を比べよう 篆刻と落款 生活に広げる ○便箋 ○封筒 ○履歴書の書き方	・日常生活に近い漢字・仮名交じりの書の線質・運筆・字形・文字の大小について意図に基づく表現を工夫する。 ・便箋や封筒の宛名、履歴書など改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。	第6回	スクーリング 10～12月 (6～7月)	漢字・仮名交じりの書についての学習	0.5	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
		単位認定試験(実技)						
					面接指導(単位時間) 合計			4